

■全国の特別支援学校等との連携・協力

本研究所では、全国の特別支援学校や幼稚園、小学校、中学校、高等学校等、教育委員会、教育センター、学校関係者等を研究協力機関・研究協力者として公募により依頼し、研究課題等に関する情報・資料提供、指導・助言、共同開発・研究、開発した指導法・試作の実践、教材開発等の協力を得ることにより、特別支援教育に関する実地的・実践的な研究の円滑な推進を図っています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、保護者団体である全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、「全国特別支援教育振興協議会」を実施しています。

■諸外国の大学・研究機関との連携・協力

本研究所では、諸外国の大学・研究機関等と連携・協力し、諸外国の特別支援教育の取組について情報を収集・分析するとともに、我が国の特別支援教育の取組や研究成果をインターネットを活用して国内外に提供しています。

◆国際調査

特別支援教育のナショナルセンターとして、諸外国の障害のある子どもの教育に関する制度等の情報を計画的・組織的に収集するとともに、国内の情報や諸外国の情報を国内外に提供しています。

◆交流協定に基づく外国人研究者との研究交流

外国の研究機関と交流協定を締結し、研究集会等の実施、特別支援教育に関する情報の交換、研究者の交流を行っています。

(交流協定締結機関)

韓国国立特殊教育院(平成7年11月締結)、ケルン大学人間科学学部(ドイツ)(平成10年11月締結)

◆研究職員の海外派遣及び外国人研究者等の受入による研究交流

国際会議への参加及び発表や状況調査等のために研究職員を海外に派遣するとともに、外国人研究者等を受け入れ、研究交流を行っています。

(平成23年度国際交流実績)

研究職員の海外派遣数：20名 / 外国人研究者の受入数：33名



研究職員の海外派遣成果報告会



外国人研究者との研究協議

■筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う養護学校として設置された国立久里浜養護学校を母体とし、平成16年4月1日の国立大学等の法人化に伴い、筑波大学附属の知的障害を併せ有する自閉症児を対象に教育を行う、幼稚部と小学部を置く養護学校として設置されました。

同校では、自閉症のある幼児・児童に対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育が行われるとともに、筑波大学における幼児・児童の教育に関する研究や、学生の教育実習の協力等がすすめられています。

なお、平成16年7月、本研究所と筑波大学との間で教育研究交流に係る協定を締結し、本研究所と同校は、これまでと同様、相互協力の下に各種取組を推進しています。



筑波大学附属久里浜特別支援学校の外観

■世界自閉症啓発デーに対応したシンポジウム等の実施



世界自閉症啓発デー in 横須賀の様子

平成19年12月18日の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、世界各国において自閉症に関する啓発の取組を実施することが要請されました。我が国では、世界自閉症啓発デー日本実行委員会により、平成21年度から「世界自閉症啓発デーシンポジウム」を開催しており、本研究所も共催機関となっています。

さらに、本研究所では、この世界自閉症啓発デーにちなみ、「自閉症の世界を知ろうよ」をテーマに、自閉症児に対する専門的な教育を行っている筑波大学附属久里浜支援学

校とともに、平成22年度から「世界自閉症啓発デーin横須賀」を開催しています。このイベントについては、平成23年度からは、共催団体として筑波大学附属久里浜特別支援学校PTA及び横須賀地区自閉症児・者親の会「たんぼぼの会」も運営にあたっています。

詳しい内容は下記のサイトをご覧ください。

世界自閉症啓発デー特設Webサイト <http://www.nise.go.jp/waad/>